

大分医療センター  
広報誌

vol.29  
2025年 新春

# あいしん 大分

## 新年のご挨拶

院長	2
副院長	3
統括診療部長	4
事務部長	4
看護部長	5
薬剤部長	5

## 連携医療機関のご紹介

三好内科循環器科医院	6
診療科紹介 循環器内科	7
キャンドルサービス	8
人事異動	9
外来診察医担当表	10



扇森稲荷神社（竹田市）（撮影：事務部長 今村宏次）

# 2025年 新年の挨拶



院長  
奈須伸吉

満開の佐助の蜜わびすけに誘われて、つがいのメジロが仲良く飛び回っています。

みなさま新年明けましておめでとうございます。

1年前は新型コロナとインフルエンザウイルスの同時流行が心配されましたが、幸いその通りにはなりませんでしたが。しかし昨年12月にはインフルエンザが警報レベルになり、さらに新型コロナも増加中と要注意なのですが、本年、私たちはパンデミックを乗り切ったことを自信にして、感染対策をしっかり継続しながら次の段階に進む年にしましょう。

昨年は、能登半島地震で始まりました。当院からはJNP 1名が被災地の病院に派遣され第2陣も待機中でしたが、現地の交通事情不良等の理由で第2陣の派遣は中止されました。その後、現地は未だ復興半ばであり、災害も無く年末年始を暖かい家の中で過ごしている私たちは心から感謝すべきでしょう。また昨年、当院の職員は感染対策を行いながら落ち着いて診療・看護を行っていたと思いますが、それだけではなく新採用者歓迎会、新人看護師院外研修、大分医療センター・医師会合同研究会、病院忘年会等の病院行事を昨年に引き続き行えました。また夏にはビアガーデン、秋には大分医療センター健康フェアと第13回豊水会（病院OB会）が再開できました。医業だけでなく病院行事を以前のように行えることでもコロナ禍からの病院の復活を感じることができました。

そして当院の経営状態はまだ順調とは言えませんが、具体的な経営指標を見ますと紹介件数と新入院患者数はコロナ前の水準に戻り、救急車受け入れ件数は過去最高数を更新した結果、医業収益は一昨年よりも増加しており明るい兆しが見えています。コロナ禍と

いう大打撃はありましたが職員皆がコツコツ頑張り、連携医療機関など周囲の支えがあったからこそここまで回復できたのだと思います。ただし、平均在院日数の短縮スピードが速いために在院患者数はまだコロナ前の80%に回復した段階であり、さらにコロナ患者受け入れ補助金激減の影響も大きく経常収支は回復の途上にあります。しかし一方では、コロナ前から行っていた患者の逆紹介プロジェクトによる外来診療のスリム化と病診連携の強化が実を結んできました。この間、初診患者に対する選定療養費の算定開始とコロナパンデミックによる受診控えが重なり外来患者数が想定以上に減少して収益減少の一因となりましたが、入院診療に重点を置けるようになって働き方改革にも比較的スムーズに対応できています。現在の当院は安定した経営状態に戻るまでの過渡期にあり、経常収支の回復は次年度以降に期待したいと思っています。

2025年は乙巳年きのとみで、乙は木の要素を持ち草木がしなやかに伸びる様子や横に広がってゆく意味を持ち、巳は不老不死のシンボルとされています。乙巳は、再生や変化をくり返しながらか柔軟に発展してゆく年になるとのことで、今年をとっても楽しみにしています。

職員の皆様は健康に気を付けながら、職員はみな共同体の一員なのでお互いを尊重して思いやり、病める人々に「愛の心・手」を差し伸べることを続けましょう。私も日々小さな幸せを見つけて、感謝しながら過ごしてゆきたいと思っています。

本年も大分医療センターをどうぞよろしく願いいたします。

# 新年のご挨拶

副院長  
梶 島 章



明けましておめでとうございます。皆様の年明けが穏やかであることを切に願います。

「甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸」の十干と「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」の十二支とを順番に組み合わせた十干十二支では、2025年は乙巳<sup>きのとみ</sup>となります。「乙」は十干の2番目で、「軋」<sup>きしむ</sup>を意味しています。陰陽五行説では木の陰のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくような意味合いです。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。「巳」は十二支の6番目で、蛇を表します。蛇には一般的にネガティブなイメージもありますが、古来より豊穡や金運を司る神聖な生き物として認識されてきました。生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。また、運気を上げる縁起物としては定番となっており、蛇の登場する夢を見ると吉兆とされ、蛇皮の財布や、蛇の抜け殻を財布に入れて持ち歩くと金運が上がるともいわれています。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。この組み合わせの「乙巳」は、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。歴史上の乙巳年の出来事を顧みます。645年に中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我入鹿を暗殺し、蘇我氏を滅ぼす「乙巳の変」が起きました。前回乙巳年の1965年は、前年に開催された東京オリン

ピックの余韻が残る中、経済発展が加速しました。同年4月1日には、日本航空機製造が生産した初の国産プロペラ旅客機YS-11が東京 - 高知 - 徳島線に定期路線として就航しました。10月24日には、ホンダがF1最終戦のメキシコGPで念願の初勝利を獲得しました。F1に参戦してから、わずか2年目での快挙でした。

昨年、当院ではコロナ禍で凍結していた種々のイベント事を復活させました。歓送迎会・OB会（豊水会）・納涼会（ビアガーデン）等々、そして、11月9日には、近隣の方をお迎えしての健康フェアを復活させることができました。

2025年以降はMRI・CT・リニアックと大型機械の更新が続き、やがては電子カルテ更新へと繋がっていきます。新しい医療センターへと更新していきます。

日々の小さな努力が実を結び、地域の皆さんに選ばれる病院になれるよう精進していきたいと思えます。

今年もよろしく申し上げます。

# 新年のご挨拶

統括診療部長

有川 雅也



新年あけましておめでとうございます。  
新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年、統括診療部長に就任し、今年で2年目を迎えることとなりました。この1年間を振り返ると、不慣れな点も多く、循環器内科医としての臨床業務との両立に苦労したこともあり、反省すべき場面もありましたが、皆さまに支えていただきながら職務を全うできたことに感謝しております。「立場が人をつくる」という言葉を胸に、引き続き誠実に職務に向き合い、少しでも皆さまのお役に立てるよう努力してまいります。

近々の課題としては、①働き方改革、タスクシェアの推進、②Rapid Response Systemの構築、があり、働き方改革ではスタッフ間の協力体制をさらに強化し、Rapid Response Systemでは緊急時の対応力を高める取り組みを進めていきたいと考えております。本年もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、私事ではありますが、昨年3月に挑戦した鹿児島マラソン2024では30km地点で足が止まり、悔しい結果となりましたが、挑戦を通じて多くの学びを得ることができました。今年はリベンジを目指して再挑戦していきたいと思っております（もちろん仕事にも全力で取り組みます）。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

事務部長

今村 宏次



新年明けましておめでとうございます。

昨年の診療報酬改定では、マイナス改定が行われた一方で、地域包括医療病棟入院料等の新設や一部入院料の引き上げがありました。しかし、施設基準や算定要件が厳格化され、救命救急入院料や特定集中治療室管理料等における宿日直の取り扱いが厳しくなるなど、急性期病院を中心に大きな減収が発生しました。

一方で、人件費の増加やエネルギー価格の高騰に伴い、食材料費、光熱費、委託費などの運営コストが急激に増加しており、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。昨今のニュースでも、「自治体病院の赤字が10.3%から14.5%に拡大」「人件費・物価高騰で病院経営は一層厳しく」などの見出しが多く見られ、例年になく病院経営は困難な状況となっています。また、ある医療サイトでの昨年の漢字アンケートでは、「忍」がトップで、「耐」（5位）、「苦」（6位）が上位に並ぶなど、診療報酬改定や物価高などに耐え忍ぶ状況が反映されているとのことでした。

当院の状況ですが、令和6年度はベースアップや物価高に伴い給与費や材料費等が増加しているものの、診療報酬改定の影響は比較的軽微であり、入院患者数の増加による入院診療収益の大幅な増加が見られ、この結果、補助金等を除く医業収支は改善傾向にあります。これもひとえに、医師や看護師をはじめ全職員の皆様のご努力とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後も厳しい病院運営が続くと予想されますが、予定されているCTやMRI等の大型医療機器の整備、電子カルテの更新、さらには老朽化した外来管理棟の改修等を実現するためには、引き続き入院患者数の増加を図り、安定した病院運営の確立（経常収支の改善）が大前提となります。

地域医療の中核を担う大分医療センターをより一層発展させるため、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

# 新年のご挨拶

看護部長

黒木 智 鶴



新年明けましておめでとうございます。昨年は当院の運営につきましてご協力、ご支援を賜り感謝申し上げます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

昨年は、病院行事として5年ぶりに健康フェアを開催し、地域の方々にたくさんご参加頂きました。当院医師による講話を熱心に聴いている地域の方々の姿をみて、当院が地域の中に存在していることをすごく実感すると共に当院が担うべき役割や地域の方々の期待に応えることの重要性を感じました。

当院の看護部の理念は「信頼される看護」「安心できる看護」の提供です。2024年は12名の新しい仲間を迎え、そのうち新人看護師は9名でした。看護師長を中心に看護の質向上に向けて日々取り組みを行い、改善を図っております。足りない点も多くありますが、患者様が安心して医療を受けることができるように、そして大分医療センターの看護を信頼していただけるように今年も努力してまいります。

本年は、巳年です。巳年は新しいことが始まる1年だと言われています。巳年に新カリキュラムで学んだ新人看護師を迎えることができます。新しい風を感じながら、新たにスタートできる年としてスタッフ一同邁進して参ります。

# 新年のご挨拶

薬剤部長

竹添 達 也



新年明けましておめでとうございます。

大分医療センターでは診療報酬改定に着実に対応することを病院目標として掲げており、薬剤部でもバイオ後続品使用体制加算、後発医薬品使用体制加算、一般名処方加算などへの対応を年度目標として取り組んでまいりました。副薬剤部長、各主任など薬剤部員が積極的に関与していただき、加算件数増加の結果も出ており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えております。

医療安全への関与についても薬剤関連のインシデントの半減が病院目標として掲げてあり、積極的な関与を行ってまいりました。現在、医薬品の安全管理には多くのシステムが関与しており医療安全向上に寄与しています。

しかしながらシステムの不具合やマスタ設定ミスによるインシデントや医療事故も報告されています。今日の薬剤業務では、システムの利用が当然のようになり、処方チェックや抗がん剤無菌調製業務などにおいてもシステムで補完されています。

同時にシステム利用に起因するリスクもあり、又安全なシステム利用には、利用者の適切な理解や対応とシステムベンダーとの連携も不可欠です。

今後病院情報システム（電子カルテ）の更新も予定されており、システム導入前の準備をしっかりと行い対応していきたいと思っております。



# 連携医療機関のご紹介

## 医療法人 去定会 三好内科循環器科医院

所在地	〒870-0317 大分市大字丹川372-1
TEL/FAX	097-593-0024 / 097-593-4576
診療科目	総合内科・透析科・眼科（水曜日 午後）
病床数	19床
診療時間	月・火・水・金 9:00~12:30、15:00~18:00 木・土 9:00~12:30 ※受付は診療30分前終了
休診日	日曜、祝日、盆、年末年始、木曜午後、土曜午後

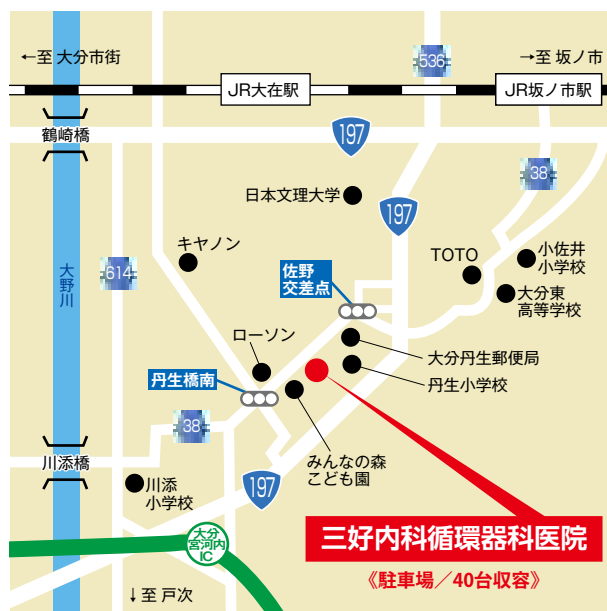


院長 平川 泰平



この度、三好内科循環器科医院の院長となりました。2024年9月から医療法人去定会三好内科循環器科医院として診療しています。これまでと同様、血液透析や入院も継続しています。同法人には場所は離れておりますが、ひらかわ産婦人科医院（大分市横塚2-4-5）もごございます。産科婦人科の患者様はこちらにおこしてください。

当法人は、今後も地域医療に貢献するよう精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



# 循環器内科

Cardiology



循環器内科部長  
(統括診療部長)  
有川 雅也

大分医療センター循環器内科は、4人体制で日常診療を行っており、午前中は外来診療（月-金、再来2診、新患1診）、午後は心臓カテーテル検査（火、水、木）、ペースメーカー治療（月）を施行しています。

主な診療内容は、

1. 心血管救急医療
2. 虚血性心臓病(狭心症・心筋梗塞)の診断・治療
3. 徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療
4. 高齢者の心不全診療

の4つであり、以下に詳述します。

## 1. 心血管救急医療

急性心不全、急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症）、不整脈、肺塞栓症、大動脈解離などの循環器疾患は一刻を争う病気のため、24時間オンコール体制（医師、看護師、放射線技師、検査技師、臨床工学技士）で診療しています。必要があれば、緊急心臓カテーテル検査、治療を行います。

## 2. 虚血性心臓病の診断・治療

昨今、薬物療法の重要性が指摘されており、虚血性心臓病の一次予防、二次予防とも積極的に行っています。カテーテル治療に関しては、光干渉断層法（OCT）を用いた治療を積極的に行っています。OCTとは、超音波の代わりに近赤外線を使用した血管内断層画像診断法であり、従来の血管造影検査

のみ、または、血管内超音波（IVUS）と比較して、より詳細な冠動脈壁構造を観察しながらのカテーテル治療が可能になりました。

また、診療に関しては、

- ① 従来のFFRに比べ、検査時間の短縮、安全性が向上したFFRangio検査
- ② 今まで何度調べても原因不明であった胸痛に対する冠微小循環障害（CMD）検査を組み合わせ、患者さんに貢献していきます。

## 3. 徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療

薬物療法では対応できない徐脈性不整脈の患者さんに対し、積極的にペースメーカー治療を行っています。患者さんの状態、疾患によっては、リードレスペースメーカーも考慮します。

## 4. 高齢者の心不全診療（「心不全パンデミック」に向けて）

我が国は超高齢化社会を迎え、心臓病の終末像である心不全が急増しており、近い将来、「心不全パンデミック」が懸念されています。このような状態に対応する診療体制と、患者さん一人ひとりに適した心不全治療（薬物療法、心臓リハビリテーション）をチーム医療で実現していきます。



# ❖ キャンドルサービス ❖

クリスマスに先駆けて、今年も12月19日にキャンドルサービスを開催致しました。クリスマスソングが流れるなか、キャンドルに明かりを灯した院長サンタが各病棟を回りました。患者さんもスタッフも笑顔に包まれ、楽しいひと時を共に過ごすことができました。





# 人事異動

## 退職・転出等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考	発令事項	発令日	職名	氏名	備考
退職	R6. 9. 30	循環器内科医師	佐藤 貴昭		退職	R6.11. 30	看護助手(中央材料室)	池永 裕子	
退職	R6. 9. 30	看護師(2階病棟)	大久保 桃花		退職	R6.12. 31	看護師(3階病棟)	菅野 萌	
退職	R6.10. 31	看護助手(2階病棟)	高野 結衣		退職	R6.12. 31	看護師(2階病棟)	熊埜御堂 友香	
退職	R6.10. 31	非常勤検査技師	佐藤 由美		退職	R6.12. 31	看護助手(3階病棟)	若林 志帆	
退職	R6.11. 30	看護師(HCU)	福本 綾香		退職	R6.12. 31	事務助手(スキャンセンター)	鎌田 孝	

## 採用・転入等

発令事項	発令日	職名	氏名	備考	発令事項	発令日	職名	氏名	備考
採用	R6. 8. 19	看護助手(2階病棟)	中田 雅枝		採用	R6.11. 1	期間職員検査技師	筑濱 香織	
採用	R6. 9. 1	非常勤検査技師	安部 春花		採用	R6.11. 1	非常勤放射線技師	野根 里紗	
採用	R6.10. 1	循環器内科医師	原田 泰輔		採用	R6.11. 11	看護助手(中央材料室)	アーリー 庸子	
採用	R6.10. 17	事務助手(訪看あいしん)	上杉 温子		採用	R6.12. 1	看護助手(3階病棟)	米倉 千晶	

## 基本理念

「愛の心・手」で  
病める人々に寄りそう医療

## 基本方針

- 一 職員はみな共同体の一員。お互いを尊重して思いやる。
- 一 プロ意識を高めて、チーム医療を充実させる。
- 一 地域医療支援病院および紹介受診重点医療機関として365日断らない医療を目指す。
- 一 大分県東部地域の救急・入院診療の中核を担う。
- 一 大分県がん診療連携協力病院としてがん診療を充実させる。
- 一 地域に根差した積極的な広報活動と情報発信を行う。
- 一 安定した医療を提供するため、健全経営を目指す。

## 大分医療センターのロゴマークについて

### 全体のコンセプト



Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

- 「緑と赤」…昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
- 「青」……大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
- 「黒」……地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。



表紙の写真や大分医療センターのなつかしい写真を募集します。  
ぜひ編集委員へご提供ください！

## 編集委員

委員長 岡田 さおり

委員 今村 宏次 早川 浩司 梶原 由衣 今井 友紀子 梅木 祐 江良 真弥 村上 英恵

# 外来診察医担当表

【令和7年1月1日現在】

患者のご紹介はこちら / 8:30~17:15

① ☎ **097-593-1112** / 総合支援センター  
FAX 097-528-9651

①が繋がらない時・時間外は②へ

② ☎ **097-593-1111** / 病院代表

独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター

■ 受付時間 8:30~11:00

■ 診察開始時間 8:30~

※救急患者についてはこの限りではありません

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療内科		平林 礼奈 (9:00~13:00)				
糖尿病・代謝・ 内分泌内科		森田真智子(新患・再来)	嶋崎 貴信(新患・再来) 仲間 寛	嶋崎 貴信 仲間 寛(新患・再来)	嶋崎 貴信(新患・再来) 仲間 寛	嶋崎 貴信 仲間 寛(新患・再来)
腎臓内科				竹野 貴志(予約制)		
膠原病内科				安倍いとみ(予約制)	梅木 達仁 (予約制 第1・第3・第5週)	
消化器内科 (肝センター)		半澤 誠人 山下 勉 岡本 和久	勝田泰志郎 室 豊吉 山下 勉	山田 訓也 山下 勉 古畑憲之介	古畑憲之介 山下 勉 勝田泰志郎	岡本 和久 山田 訓也 半澤 誠人
循環器内科		有川 雅也 梅北 浩史 青木 貴紀(新患)	有川 雅也 原田 泰輔 青木 貴紀(新患)	青木 貴紀 原田 泰輔 梅北 浩史(新患)	青木 貴紀 梅北 浩史 有川 雅也(新患)	有川 雅也 梅北 浩史 原田 泰輔(新患)
心臓血管外科					和田 朋之(13:00~) まずは循環器内科に紹介ください	
呼吸器内科 (呼吸器センター)		大谷 哲史(新患) 後藤 昭彦	大谷 哲史 内田そのえ(新患)	後藤 昭彦(新患) 内田そのえ	大谷 哲史 石川健太郎(新患)	大谷 哲史(新患) 後藤 昭彦
血液内科		諸鹿 柚衣 (月曜日受付8:30~11:00 診療 9:00~17:00)			樋園 和仁*	
脳神経内科					日野 天佑 (13:00~17:00)	
外科		渡邊 公紀 高橋 純一	椛島 章 緒方 克哉	渡邊 公紀 荒金 佑典	高橋 純一 小林 照之	小林 照之 荒金 佑典
呼吸器外科					高祖 英典(再診予約) (10:00~)	
整形外科		田畑 知法 福田 貴仁	田畑 知法 福田 貴仁	(手術日)	田畑 知法 福田 貴仁	金曜新患受付10時まで 田畑 知法 福田 貴仁
泌尿器科	新患	紹介は「外来担当医」宛てでお願いします。 (新患受付)月・水・金は11:00まで、火・木は10:00まで				
	再来	河野 香織 住野 泰弘 奈須 伸吉	河野 香織 住野 泰弘 村上 幹	河野 香織 住野 泰弘 村上 幹	布施 正篤 住野 泰弘 村上 幹	河野 香織 村上 幹 奈須 伸吉
婦人科		岡田さおり	岡田さおり	梶原 由衣(午前) 西田 欣広(午後)*	岡田さおり	梶原 由衣
		※水曜日午後 受付時間14:00~16:30 診療時間14:00~17:00				
放射線科		牧角 健司	牧角 健司(午前) 本村 有史(放射線治療 新患午後)	牧角 健司	牧角 健司(午前) 本村 有史(午後)	牧角 健司
内視鏡 (胃腸センター)		勝田泰志郎 古畑憲之介	岡本 和久 半澤 誠人 山田 訓也	勝田泰志郎 半澤 誠人	岡本 和久 山田 訓也	山下 勉 古畑憲之介
専門診療科の判断が 困難な内科系疾患(午前)		総合診療内科 血液内科	呼吸器内科	循環器内科	血液内科	消化器内科



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人  
国立病院機構

**大分医療センター**

<https://oita.hosp.go.jp>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651